

Patent Abstracts of Japan

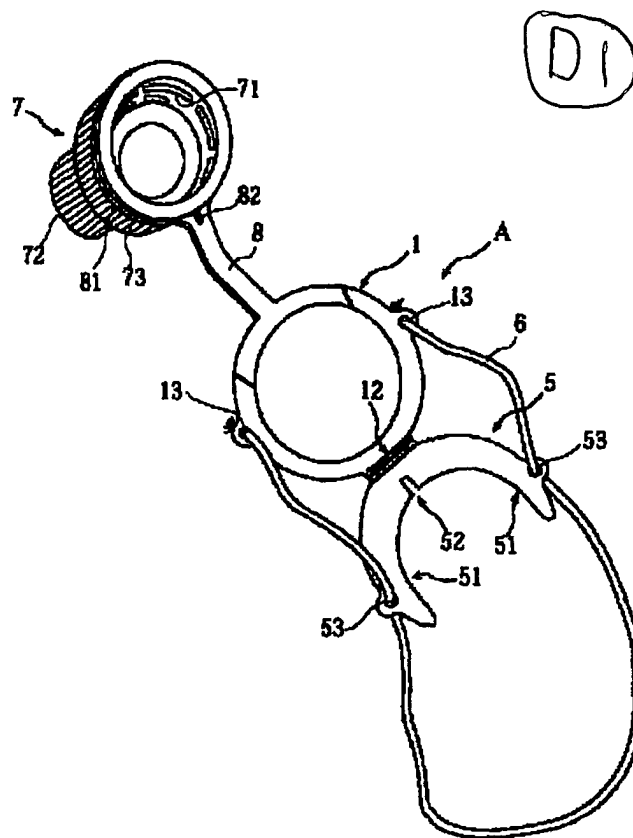
PUBLICATION NUMBER : 2000302133
 PUBLICATION DATE : 31-10-00
 APPLICATION DATE : 20-04-99
 APPLICATION NUMBER : 11112844

APPLICANT : YOKOTA MASASADA;

INVENTOR : YOKOTA MASASADA;

INT.CL. : B65D 23/00

TITLE : HANGING TOOL FOR CARRYING PET BOTTLE



ABSTRACT : **PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a hanging tool for carrying a PET bottle which has a good appearance and simple construction and can carry a PET bottle.

SOLUTION: The hanging tool for carrying a PET bottle includes a hanging ring 1 having an inner diameter larger than the outer diameter of a hanging flange having a protrusion around its periphery and formed below a mouth of a bottle body, a hooking piece 5 which is formed into a semicircular shape so as to be laterally mounted to a location just below the hanging flange and which can be hooked on the hanging flange so as not to slip out therefrom and can be bendably connected to the periphery of the ring 1, a temporary cap 7 which is held by the ring 1 through a belt-shaped holder 8, and a string-shaped body 6 to hang the piece 5 hooked onto the hanging flange and the ring 1.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-302133
(P2000-302133A)

(43)公開日 平成12年10月31日(2000.10.31)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

FI

テーマコード* (参考)

B 6 5 D 23/00

B 6 5 D 23/00

P 3E062

審査請求 未請求 請求項の数10 OL (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平11-112844

(22) 出廳日 平成11年4月20日(1999.4.20)

(71)出願人 591177037

横田 正判

大阪府東大阪市宝持4丁目14-11

(72)発明者 横田 正判

東大阪市宝持4丁目14-11

(74)代理人 100080746

弁理士 中谷 武嗣

Fターム(参考) 3E062 AA09 AB02 AC02 BA04 BB02

BB09 GA03 GA06 GB05 GC03

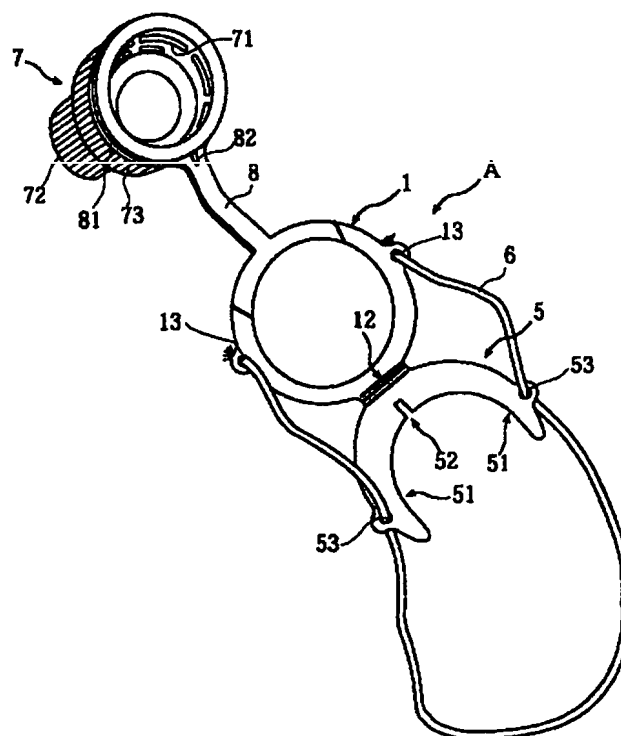
KA04 KB17 KC01

(54)【発明の名称】 ペットボトル携帯吊具

(57) 【要約】

【課題】 体裁よく、ペットボトルを携行できる構成簡易なペットボトル携帯吊具を提供する。

【解決手段】 瓶本体の瓶口の下部に形成された周凸状の掛止フランジの外径よりも大きい内径を有する掛止リング1と、半円弧状に形成され、上記掛止フランジの直下の位置に横方向から挿入可能で、かつ、上記掛止フランジに対して上方へ抜け止め状態に掛止し、上記掛止リング1の上に、折り重ね可能となるように、該掛止リング1の外周部に折曲自在に接続された掛止片5と、帯状保持体8を介して上記掛止リング1に保持される仮キャップ7と、上記掛止フランジに掛止した掛止片5と掛止リング1とを吊持するための紐状体6と、を具備している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 瓶本体2の瓶口3の下部に形成された周凸状の掛止フランジ4の外径よりも大きい内径を有する掛止リング1と、半円弧状に形成され、上記掛止フランジ4の直下の位置に横方向から挿入可能で、かつ、上記掛止フランジ4に対して上方へ抜け止め状態に掛止し、上記掛止リング1の上に、折り重ね可能となるように、該掛止リング1の外周部に折曲自在に接続された掛止片5と、帯状保持体8を介して上記掛止リング1に保持される仮キャップ7と、上記掛止フランジ4に掛止した掛止片5を掛止リング1と共に吊持するための紐状体6と、を具備したことを特徴とするペットボトル携帯吊具。

【請求項2】 瓶本体2の瓶口3の下部に形成された周凸状の掛止フランジ4の外径よりも大きい内径を有する掛止リング1と、該掛止リング1の両側に折曲自在に設けられ、該掛止リング1の上に内側に向けて折り重ね可能で、その折り重ね状態にて、上記掛止フランジ4に対して抜け止め状態に掛止する一対の掛止片5、5と、帯状保持体8を介して上記掛止リング1に保持される仮キャップ7と、上記掛止フランジ4に掛止した掛止片5、5を掛止リング1と共に吊持するための紐状体6と、を具備したことを特徴とするペットボトル携帯吊具。

【請求項3】 瓶本体2の瓶口3の下部に形成された周凸状の掛止フランジ4の外径よりも大きい内径を有する鰐状部21に、縦向きのスリット22…を有して弾性変形する周壁部23を、下向きに形成してなるリング体20と、該リング体20の周壁部23の外周に密に嵌合する外周壁25の上部に下鰐26を有してなる支持リング24と、帯状保持体8を介して該リング体20に保持される仮キャップ7と、上記掛止フランジ4に掛止したリング体20を支持リング24と共に吊持するための紐状体6と、を具備したことを特徴とするペットボトル携帯吊具。

【請求項4】 円筒体33の内周に、上記瓶本体2の瓶口3に形成された雄螺子31に螺合する雌螺子34が形成され、かつ、その円筒体33の外周に、雄螺子35が形成されると共に、その円筒体33の下部に鰐状部36を有する支持部材32と、上記支持部材32の雄螺子35に螺合する雌螺子71を有して、帯状保持体8を介して上記鰐状部36に保持される回動自在な仮キャップ7と、上記瓶口3に螺合した支持部材32を吊持するための紐状体6と、を具備したことを特徴とするペットボトル携帯吊具。

【請求項5】 上記掛止片5に形成された貫通孔53、53に密嵌状態に嵌入する嵌入部14、14を、上記掛止リング1に形成された係止孔13、13の周りに立ち上げ状に形成した請求項1記載のペットボトル携帯吊具。

【請求項6】 上記両掛止片5、5に形成された貫通孔53、53に密嵌状態に嵌入する嵌入部14、14を、上記掛止リング1に形成された係止孔13、13の周りに立ち上げ状に形成した請求項2記載のペットボトル携帯吊具。

【請求項7】 上記仮キャップ7に、上記瓶口3に形成された雄螺子31に螺合する雌螺子71が形成されている請求項1、2、3、4又は5記載のペットボトル携帯吊具。

【請求項8】 上記仮キャップ7に、上記瓶口3の内周面に密嵌状態に内嵌する内栓部74が形成されている請求項1、2、3、5又は6記載のペットボトル携帯吊具。

【請求項9】 上記瓶本体2内に挿入したストロー9のはみ出し部分を収納できる上凸部72が、上記仮キャップ7に形成されている請求項1、2、3、4、5、6、7又は8記載のペットボトル携帯吊具。

【請求項10】 上記瓶本体2内に挿入したストロー9の外周面に、接触して該ストロー9を安定に保持する接触子153…を内向きに形成して上記瓶口3に内嵌するストロー止め部材15を具備した請求項1、2、3、4、5、6、7、8又は9記載のペットボトル携帯吊具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ペットボトル携帯吊具に関する。

【0002】

【従来の技術】ペットボトルは、ポリエチレンテレフタレート（PET）の延伸吹き込み成形により得られ、軽量かつ丈夫で、安価でもあり、コーラーやジュース、飲料水等の各種飲料を収納する容器等として広く用いられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このようなペットボトルで、比較的容量の大きいものでは、内容物を一度に消費してしまわないで、その一部を残して、携行されることがある。そのような場合、瓶口や瓶本体を把持して歩行するのは、何となく不格好であり、かつ、持ちにくくもあった。

【0004】そこで、本発明は、体裁よく、ペットボトルを携行できる構成簡易なペットボトル携帯吊具を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述の目的を達成するために、本発明のペットボトル携帯吊具は、瓶本体の瓶口の下部に形成された周凸状の掛止フランジの外径よりも大きい内径を有する掛止リングと、半円弧状に形成され、上記掛止フランジの直下の位置に横方向から挿入可能で、かつ、上記掛止フランジに対して上方へ抜け止め状態に掛止し、上記掛止リングの上に、折り重ね可能となるように、該掛止リングの外周部に折曲自在に接続された掛止片と、帯状保持体を介して上記掛止リングに保持される仮キャップと、上記掛止フランジに掛止した掛止片を掛止リングと共に吊持するための紐状体と、を具備している。

【0006】また、瓶本体の瓶口下部に形成された周凸

状の掛止フランジの外径よりも大きい内径を有する掛止リングと、該掛止リングの両側に折曲自在に設けられ、該掛止リングの上に内側に向けて折り重ね可能で、その折り重ね状態にて、上記掛止フランジに対して抜け止め状態に掛止する一対の掛止片と、帯状保持体を介して上記掛止リングに保持される仮キャップと、上記掛止フランジに掛止した掛止片を掛止リングと共に吊持するための紐状体と、を具備している。

【0007】あるいは、瓶本体の瓶口の下部に形成された周凸状の掛止フランジの外径よりも大きい内径を有する錨状部に、縦向きのスリットを有して弾性変形する周壁部を、下向きに形成してなるリング体と、該リング体の周壁部の外周に密に嵌合する外周壁の上部に下錨を有してなる支持リングと、帯状保持体を介して該リング体に保持される仮キャップと、上記掛止フランジに掛止したリング体を支持リングと共に吊持するための紐状体と、を具備している。

【0008】さらに、円筒体の内周に、上記瓶本体の瓶口に形成された雄螺子に螺合する雌螺子が形成され、かつ、その円筒体の外周に、雄螺子が形成されると共に、その円筒体の下部に錨状部を有する支持部材と、上記支持部材の雄螺子に螺合する雌螺子を有して、帯状保持体を介して上記錨状部に保持される回動自在な仮キャップと、上記瓶口に螺合した支持部材を吊持するための紐状体と、を具備している。

【0009】そして、上記両掛止片に形成された貫通孔に密嵌状態に嵌入する嵌入部を、上記掛止リングに形成された係止孔の周りに立ち上げ状に形成するも好ましい。また、上記両掛止片に形成された貫通孔に密嵌状態に嵌入する嵌入部を、上記掛止リングに形成された係止孔の周りに立ち上げ状に形成するも好ましい。あるいは、上記仮キャップに、上記瓶口に形成された雄螺子に螺合する雌螺子が形成されているのも好ましい。

【0010】また、上記仮キャップに、上記瓶口の内周面に密嵌状態に内嵌する内栓部が形成されているのも好ましい。あるいは、上記瓶本体内に挿入したストローのはみ出し部分を収納できる上凸部が、上記仮キャップに形成されているのも好ましい。さらに、上記瓶本体内に挿入したストローの外周面に、接触して該ストローを安定に保持する接触子を内向きに形成して、上記瓶口に内嵌するストロー止め部材を具備するも好ましい。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を示す図面に基づき、本発明を詳説する。

【0012】図1乃至図4は第1の実施の形態を示し、図1は展開平面図、図2は展開状態の斜視図、図3は瓶口に取り付けた状態の斜視図、図4は携行状態の説明図である。これらの図に於いて、1は、瓶本体2の瓶口3の下部に形成された周凸状の掛止フランジ4の外径よりも大きい内径を有する掛止リング、5は、掛止リング1

の上に、折り重ね自在となるように、掛止リング1の外周部に折り曲げ自在に接続された掛止片で、半円弧状に形成され、その基部には、その両側部51、51の外方への変形を容易とするための切り割り52が形成され、掛止フランジ4の直下に横方向から挿入可能で、かつ、掛止リング1の上に折り重ねた状態では（図3、図4参照）、掛止フランジ4に対して上方へ抜け止め状態に掛止する。

【0013】その掛止片5の両側部51、51には、紐状体6を挿通させるための貫通孔53、53が形成され、かつ、その掛止片5を掛止リング1の上に折り重ねた時に、その貫通孔53、53と一致するように、その掛止リング1の両側部に、係止孔13、13が形成されており、上記両貫通孔53、53に挿通させた紐状体6の両端部を、その係止孔13、13に挿通させてその裏側で結び目を形成することにより、その紐状体6を抜け止め状態に係止させることができる。

【0014】7は、瓶口3に形成された雄螺子31に螺合する雌螺子71を有する仮キャップ、8は、その仮キャップ7を回動自在に保持する帯状保持体で、その基部が掛止リング1に固定され、先端部には、仮キャップ7を嵌合させるためのリング状保持部81が形成され、そのリング状保持部81の基部には、変形を容易とするための切り割り82が形成されている。

【0015】仮キャップ7には、瓶本体2内に挿入したストロー9のはみ出し部分を収納するための上凸部72が形成されており、かつ、その本体部73の下部外周には、帯状保持体8のリング状保持部81を被嵌させるための周溝（図示省略）が形成され、その周溝に、リング状保持部81を容易に嵌め込むことができ、その嵌合状態にて、仮キャップ7が回動自在に保持されるようになっている。なお、仮キャップ7は、硬質プラスチックが好ましいが、金属を素材とするものであってもよい。

【0016】このようなペットボトル携帯吊具Aを取り付けるペットボトル10は、ポリエチレンテレフタレート（PET）の延伸吹き込み成形によって得られるものであり、例えば、図5に示すように、その瓶本体2の上部に形成された瓶口3には、閉栓用の雄螺子31が形成され、かつ、その下方位置には、ピルファーフ用に係止リング16を保持するための周凸状の掛止フランジ4が形成されている。本発明では、この掛止フランジ4を、ペットボトル携帯吊具Aを掛止させるために有効に利用している。

【0017】その瓶口3には、図3に示すように、ストロー止め部材15を内嵌させることもできる。（原則的には省略する。）この止め部材15が有れば、瓶本体2内に挿入されたストロー9を、常時、使用可能な状態に安定に保持することができる。そのストロー止め部材15は、PETや合成ゴム等の比較的に柔軟な高分子材料等により形成され、例えば、図6（A）（B）に示すように、

円形状のフランジ151と、そのフランジ151の下方に形成されて瓶口3に着脱自在に内嵌する円筒部152と、その円筒部152の底に、内方に向けて形成された接触子153…から成り、その接触子153…の先端部で、ストロー9の外周部を把持させるようにしたものである。このようなストロー止め部材15を用いることにより、ストロー9を、使用可能な状態(図3参照)に保持したままで、仮キャップ7で閉栓することができる。

【0018】以上のように構成されるペットボトル携帯吊具Aでは、まず、仮キャップ7をリング状保持部81に嵌め込み(図2参照)、次いで、掛止リング1を瓶口3に嵌め込む。この時、掛止リング1は、掛止フランジ4よりも下の位置で止まる。次に、掛止片5の両側部51、51を内方に折り曲げ、掛止リング1の上に重ねる(図3参照)。この時、掛止片5の両側部51、51が、やや外方に拡開しつつ掛止フランジ4を乗り越え、一旦、掛止フランジ4を乗り越え、その両側部51、51が、掛止フランジ4に対して上方へ抜け止め状態となって掛止する。

【0019】次いで、仮キャップ7を瓶口3に螺合させて閉栓することにより、携行準備が完了する。そして、紐状体6を手で把持すれば(図4参照)、掛止リング1と掛止フランジ4との間に掛止片5が挟まれた状態となり、その掛止片5によって、瓶本体2を、安定な抜け止め状態に吊持することができる。この時、ストロー9は、図3に示すように、使用可能な状態に瓶本体2内に保持されており、開栓することにより、直ちに、使用できる。なお、仮キャップ7は、帯状保持体8のリング状保持部81に固定状態に取り付けられていてもよく、その場合には、閉栓時に、その仮キャップ7を回動させると、掛止リング1と掛止片5が連れ回りするが、掛止フランジ4に対する掛止状態は安定に維持される。

【0020】図7及び図8は、上記実施の形態の改良型を示し、このペットボトル携帯吊具Bでは、掛止片5の両側部51、51に形成された貫通孔53、53に密嵌状態に嵌入する短い円筒状の嵌入部14、14を、掛止リング1に形成された係止孔13、13の周りに立ち上げ状に形成している。これにより、その掛止片5を掛止リング1の上に折り重ねた時に、その折り重ね状態が安定に保持されるため、ペットボトル携帯吊具Bを瓶口3に装着させた時に、常に、掛止片5を掛止リング1に折り重ねた状態に保持することができ、装着状態が良好となる。

【0021】図9は、別の実施の形態を示し、このペットボトル携帯吊具Cでは、瓶口3の下部に形成された周凸状の掛止フランジ4(図5参照)の外径よりも大きい内径を有する掛止リング1の両側部に折曲部12、12を介して一対の掛止片5、5を設けている。その掛止片5、5は、掛止リング1の上に内側に向けて折り重ね自在で、その折り重ね状態にて、掛止フランジ4に対して上方へ抜け止め状態に掛止する。その両掛止片5、5に

は、紐状体6の両端部を挿通させるための貫通孔53、53が形成され、かつ、その両掛止片5、5を上記掛止リング1に折り重ねた時に、上記貫通孔53、53と一致する位置に、係止孔13、13が形成されている。

【0022】そして、その掛止片5、5に形成された貫通孔53、53に密嵌状態に嵌入する短い円筒状の嵌入部14、14を、掛止リング1に形成された係止孔13、13の周りに立ち上げ状に形成している。これにより、その掛止片5、5を掛止リング1の上に折り重ねた時に、その折り重ね状態が安定に保持されるため、ペットボトル携帯吊具Cを瓶口3に装着させた時に、その装着状態が良好となる。

【0023】このペットボトル携帯吊具Cを装着するには、まず、リング状保持部81に、仮キャップ7(図2参照)を回動自在に取り付けると共に、紐状体(図示省略)を、掛止片5、5の貫通孔53、53と掛止リング1の係止孔13、13とに挿通させて、その両端部に結び目を形成し、係止孔13、13に係止させる。そして、掛止リング1を瓶口3に嵌め込む。この時、掛止リング1は、掛止フランジ4よりも下の位置で止まる。

【0024】次に、両掛止片5、5を内方に折り曲げ、掛止リング1の上に重ねる(図9の二点鎖線参照)。この時、掛止片5の両側部51、51が、やや外方に拡開しつつ掛止フランジ4を乗り越え、一旦、掛止フランジ4を乗り越え、その両掛止片5、5が、掛止フランジ4に対して上方へ抜け止め状態となって掛止する。

【0025】次いで、仮キャップ7を瓶口3に螺合させて閉栓することにより、携行準備が完了し、紐状体を把持すれば、掛止リング1と掛止フランジ4との間に両掛止片5、5が挟まれた状態となり、その掛止片5、5によって、瓶本体2を、安定な抜け止め状態で携行可能に吊持することができる。

【0026】図10は、上記実施の形態の改良型を示し、このペットボトル携帯吊具Dでは、仮キャップ7は、帯状保持体8を介して、掛止リング1に対して一体固定に保持されている。このような構成により、掛止リング1を瓶口3(図5参照)に嵌め込み、両掛止片5、5を掛止リング1に折り重ねると、貫通孔53、53に対して嵌入部14、14が密嵌するため、仮キャップ7を回動させて閉栓する際には、掛止リング1と両掛止片5、5が密着状態で連れ回りし、操作性が良好となる。

【0027】図11は、さらに別の実施の形態を示し、このペットボトル携帯吊具Eでは、掛止フランジ4(図5参照)の外径よりも大きい内径を有する鐐状部21に、縦向きのスリット22…を有して弾性変形する周壁部23を、下向きに形成してなるリング体20に、帯状保持体8を介して仮キャップ7を回動自在に保持させる一方、リング体20の周壁部23の外周に密に嵌合する外周壁25の上部に下鐐26を有してなる支持リング24を設け、携行用の紐状体6の両端部を、上記リング体20の両側部に形成した貫

通孔202, 202に挿通させて、上記支持リング24の両側部に形成した係止孔242, 242に、挿入係止させている。なお、周壁部23の内面下部に抜け止め用の突起231を形成する(図13参照)。

【0028】このような構成により、まず、支持リング24とリング体20とを瓶口3(図5参照)に挿入した後、仮キャップ7で閉栓する。その際に、リング体20を瓶口3に押し込むと、周壁部23は、内径が拡大するように弾性変形して、瓶口3の下部に形成された掛止フランジ4を乗り越える。その後、支持リング24を引き上げ、リング体20の周壁部23の外周に、支持リング24を密に嵌合させ、下鍔26の上に鍔状部21を重ねる。これにより、リング体20の周壁部23が縮径し、その突起231が、掛止フランジ4に対して、上方へ抜け止め状態となって掛止し、携行可能な状態となる。

【0029】図12は、上記実施の形態の改良型を示し、このペットボトル携帯吊具Fでは、仮キャップ7は、瓶口3(図5参照)の内周面に密嵌状態に内嵌する内栓部74の外側に瓶口3の外側を覆う本体部73を有し、その本体部73の上部端縁に、仮キャップ7を外すための操作片75を設けている。このような構成により、仮キャップ7で閉栓する時には、瓶口3に対して、その仮キャップ7を押し込み、その内栓部74を瓶口3内に密嵌させればよく、閉栓、開栓操作が容易となる。なお、その周壁部23の内面下部には、前実施の形態と同じ突起231を形成している。

【0030】図14は、異なる実施の形態を示し、このペットボトル携帯吊具Gでは、支持部材32は、円筒体33の内周に、瓶口3(図5参照)に形成された雄螺子31に螺合する雌螺子34が形成され、かつ、その円筒体33の外周に、雄螺子35が形成されると共に、その円筒体33の下部に鍔状部36を有して成り、その雄螺子35に螺合する雌螺子71を有する仮キャップ7を、鍔状部36に接続された帯状保持体8のリング状保持部81内に回動自在に保持させると共に、その鍔状部36の両側部に形成された係止孔362, 362に、紐状体6の両端を挿入係止させるようにしている。なお、仮キャップ7の本体部73と上凸部72の境目にリング状保持部81を嵌め込む周溝(図示省略)が形成されている。

【0031】このような構成により、まず、瓶口3の雄螺子31に、支持部材32の雌螺子34を螺合させ、次いで、その支持部材32の雄螺子35に、仮キャップ7の雌螺子71を螺合させれば、携行可能な状態となる。なお、図示は省略するが、支持部材32の円筒体33の外周を、(雄螺子を形成することなく)平滑面にする一方、仮キャップ7の内側に、瓶口3内に密嵌する内栓部74(図12参照)を形成すると共に、本体部73の内周面を、上記円筒体33の外周に密嵌状態に被嵌する平滑面としてもよい。

【0032】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、瓶本体2

の掛止フランジ4に対して、掛止片5を介して掛止リング1を上方へ抜け止め状態に掛止させて、仮キャップ7で瓶口3を閉栓して、その掛止リング1を掛止片5と共に、紐状体6で吊持するので、瓶本体2内の内容物を保存状態として、体裁よく携行することができ、かつ、随時、必要に応じて、消費することができる。また、簡単な構成であるから、製作容易であり、安価に提供することができる。

【0033】請求項2記載の発明によれば、瓶本体2の掛止フランジ4に対して、一对の掛止片5, 5を介して掛止リング1を上方へ抜け止め状態に掛止させて、仮キャップ7で瓶口3を閉栓して、その掛止リング1を掛止片5, 5と共に、紐状体6で吊持するので、瓶本体2内の内容物を保存状態として、体裁よく携行することができ、かつ、随時、必要に応じて、消費することができる。また、簡単な構成であるから、製作容易であり、安価に提供することができる。

【0034】請求項3記載の発明によれば、瓶口3に挿入したリング体20の周壁部23の外周に、支持リング24の外周壁25を密に嵌合させて、その周壁部23を縮径させることにより、その支持リング24をリング体20と共に、掛止フランジ4に対して、上方へ抜け止め状態に掛止させて、仮キャップ7で瓶口3を閉栓し、その支持リング24をリング体20と共に、紐状体6で吊持するので、瓶本体2内の内容物を保存状態として、体裁よく携行することができ、かつ、随時、必要に応じて、消費することができる。また、簡単な構成であるから、製作容易であり、安価に提供することができる。

【0035】請求項4記載の発明によれば、瓶口3に形成された雄螺子31に支持部材32の雌螺子34を螺合させ、次いで、支持部材32の雄螺子35に、仮キャップ7の雌螺子71を螺合させて、瓶口3を閉栓し、その支持部材32を紐状体6で吊持するので、瓶本体2内の内容物を保存状態として、体裁よく携行することができ、かつ、随時、必要に応じて、消費することができる。また、簡単な構成であるから、製作容易であり、安価に提供することができる。

【0036】請求項5記載の発明では、掛止片5を掛止リング1に折り重ねた状態を安定に保持することができ、装着時の収まり状態が良好となり、体裁も向上する。

【0037】請求項6記載の発明では、両掛止片5, 5を掛止リング1に折り重ねた状態を安定に保持することができ、装着時の収まり状態が良好となり、体裁も向上する。

【0038】請求項7記載の発明では、仮キャップ7を瓶口3に螺合させることにより、緊密な閉栓状態を得ることができる。

【0039】請求項8記載の発明では、仮キャップ7を瓶口3に押し込むことにより、閉栓動作が容易となる。

また、開栓動作も容易となる。

【0040】請求項9記載の発明では、ストロー9を瓶本体2内に収納した状態で、携行できるので、利便性が向上する。

【0041】請求項10記載の発明では、ストロー9を瓶本体2内に安定に保持した状態で、携行できるので、開栓して、すぐに使用することができ、さらに利便性が向上する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の一形態を示す要部展開平面図である。

【図2】斜視図である。

【図3】瓶口に装着した斜視図である。

【図4】携行時の斜視図である。

【図5】ペットボトルの要部側面図である。

【図6】ストロー止め部材の構成図である。

【図7】改良型の要部展開平面図である。

【図8】要部展開側面図である。

【図9】別の実施の形態を示す要部展開平面図である。

【図10】改良型の斜視図である。

【図11】さらに別の実施の形態を示す要部斜視図である。

【図12】改良型の斜視図である。

【図13】リング体の突起の拡大断面図である。

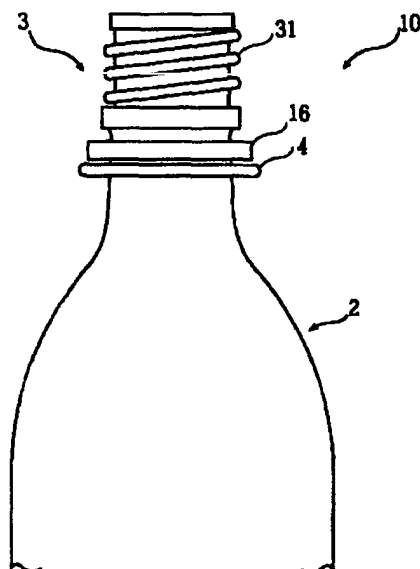
【図14】異なる実施の形態の組付け対応斜視図である。

【符号の説明】

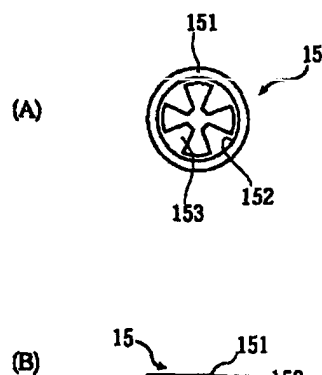
- 1 掛止リング
- 2 瓶本体
- 3 瓶口

- 4 掛止フランジ
- 5 掛止片
- 6 紐状体
- 7 仮キャップ
- 8 帯状保持体
- 9 ストロー
- 13 係止孔
- 14 嵌入部
- 15 ストロー止め部材
- 20 リング体
- 21 鋤状部
- 22 スリット
- 23 周壁部
- 24 支持リング
- 25 外周壁
- 26 下鋤
- 31 雄螺子
- 32 支持部材
- 33 円筒体
- 34 雌螺子
- 35 雄螺子
- 36 鋤状部
- 51 両側部
- 53 貫通孔
- 71 雌螺子
- 72 上凸部
- 74 内栓部
- 153 接触子

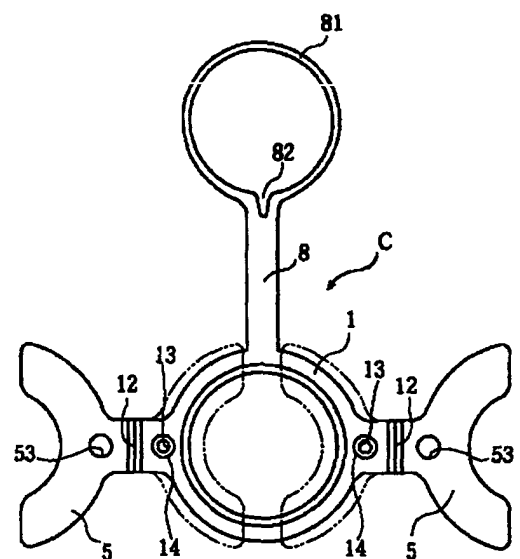
【図5】



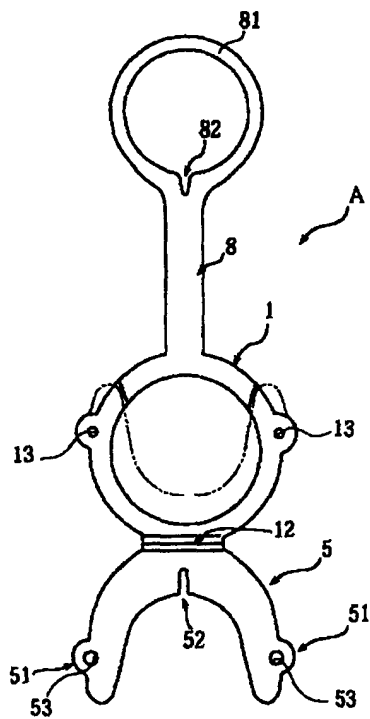
【図6】



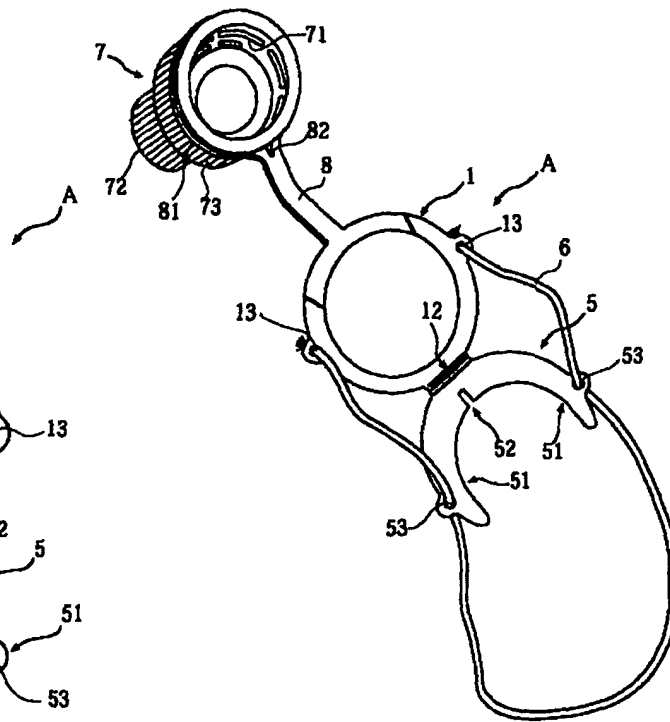
【図9】



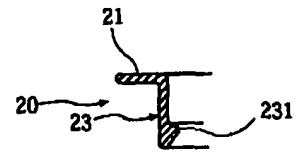
【図1】



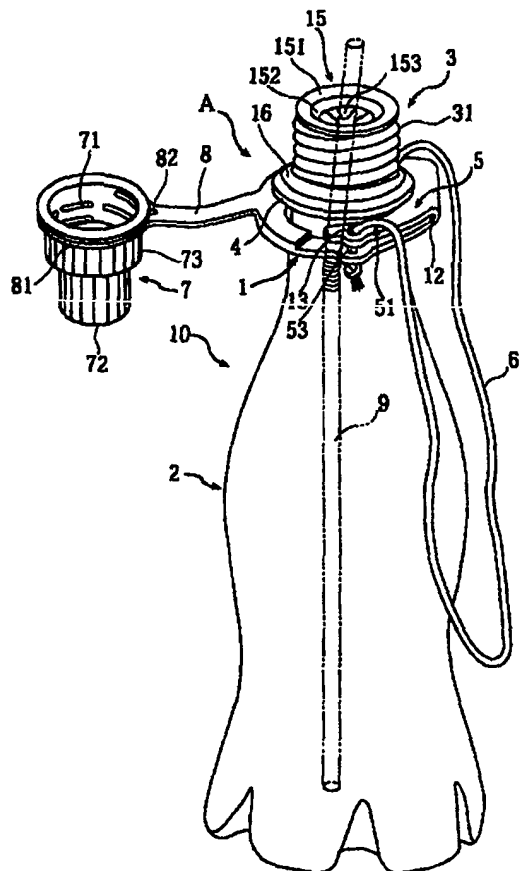
【図2】



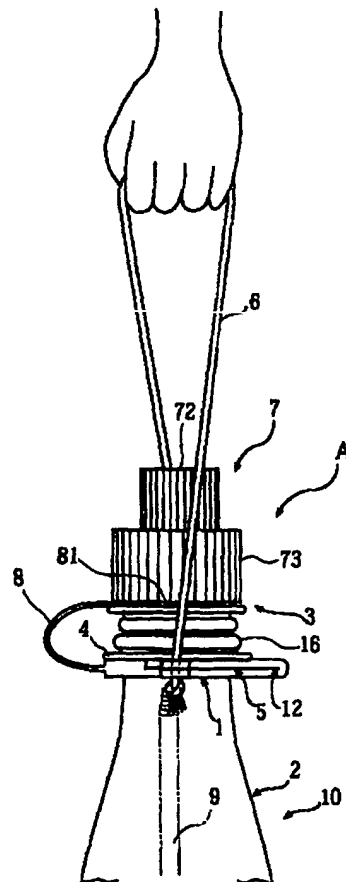
【図13】



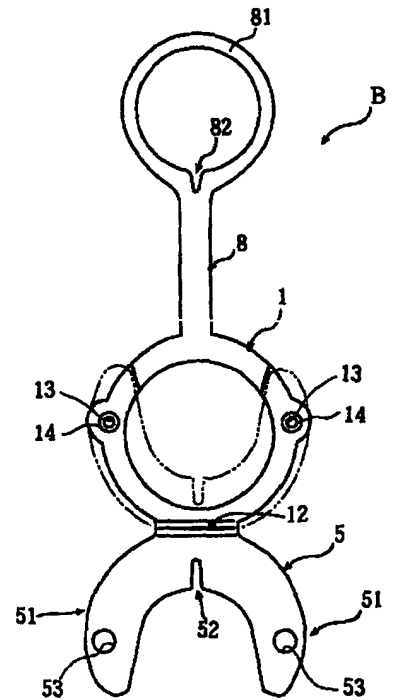
【図3】



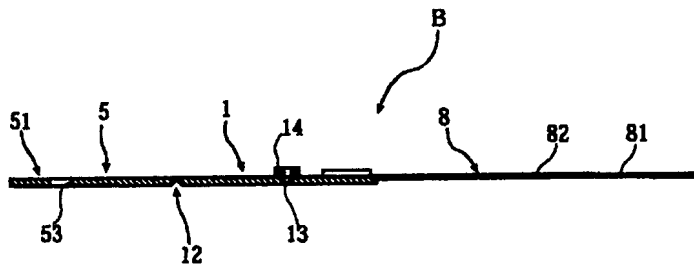
【図4】



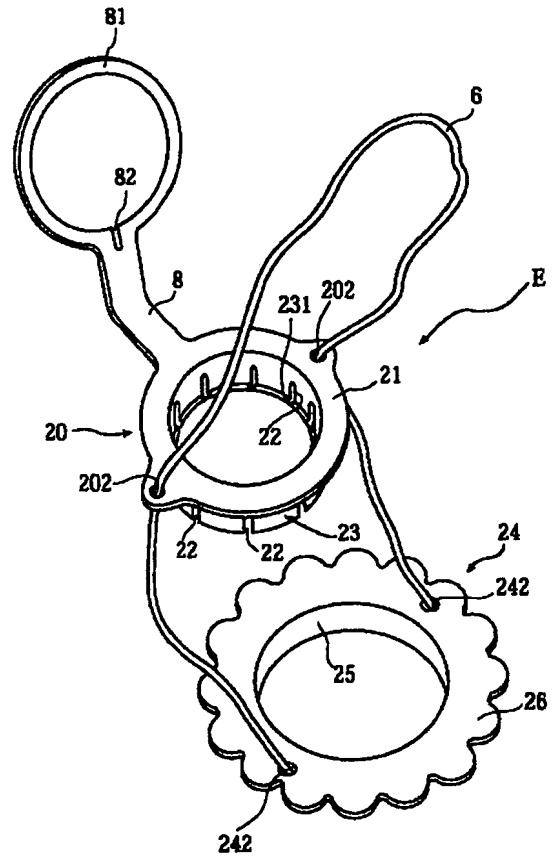
【図7】



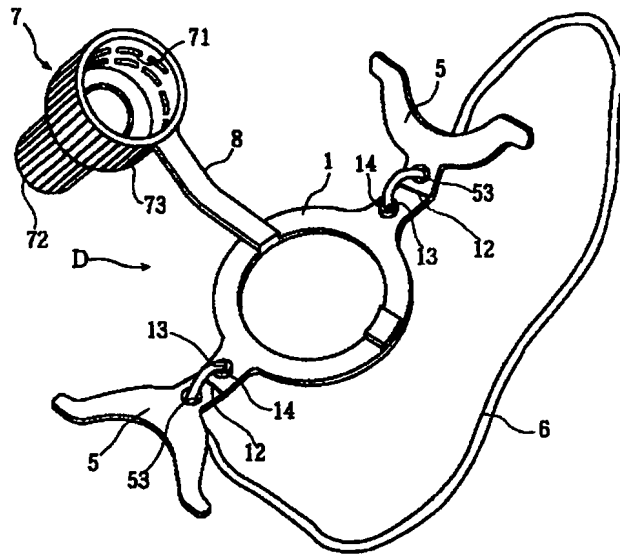
【図8】



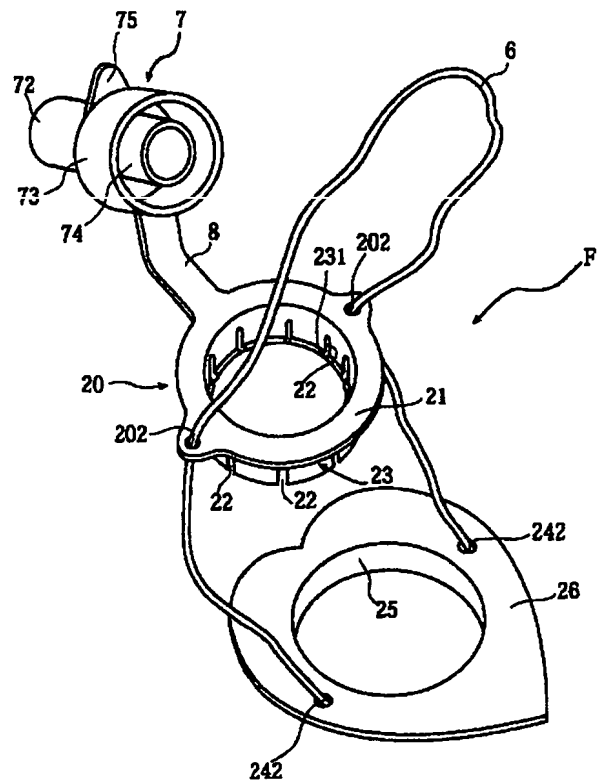
【図11】



【図10】



【図12】



【図14】

